



もう~い~くつねると♪お正月♪

体育館の耐震補強工事が完成いたしました。

小学校は、11月25日ごろから、使用開始されたようですが、放課後では、体育館シューズを持ってきてくれるように告知して、揃うのに時間がかかり、12月9日のイベントから、使用することにしました。まだまだ、全員の子どもたちが持ってきてくれているわけではないので、まだの人は、できるだけ早く持ってきてくださることをお願い申し上げます。久々の体育館での遊びに子どもたちは、楽しそうです。保護者の方がお迎えに来てくださっても、なかなか帰りたがらず、「もうちょっと、もちょっと・・・。」と、遊びに夢中のこの頃です。今年はずっと暖冬で、暖かい日が続いていたので、外遊びもそう、苦にはなりませんので、ほんとうに助かりました。もうこれからは、雨の日や、極寒の日の対策に気を配る必要がないと思うと、体育館に感謝です。子どもたちは、「遊具であそびたい！」と言っていますが、小学校の配慮で、遊ばせてもらっていたので、体育館使用になった今は、遊具では遊べなくなりました。保護者の皆様、約3か月間、遠くまでお迎えに来ていただきましてありがとうございました。

指導員からのお願い！

お迎えの時に小さいお子様をお連れの親御さんは、体育館シューズを履いていなくて、靴下や素足のままで、体育館でそのお子様を遊ばせておられますが、子どもたちには、基本、「体育館シューズのない人は、体育館で遊ばません。」という規則にしていますので、小さいお子様にも、怪我があってからではたいへんですので、そのむねを伝え、規則を守らせるよう心掛けてくださることをお願いしたいと思います。当方では、責任は取れませんので、ご協力ください。



≡ 二障害物競争 & 二人三脚



しよいこ
 子供たちの背中には、背負子が背負われ、中には、松ぼっくりが入っています。うまく立居振る舞わらないと松ぼっくりが落ちちゃって、からっぽになるのよね～～。

障害物競争の種類 (3種類)

- ・ さかなつり
- ・ 輪投げ

- ・ しよいこはさみにハナ挟みで松ぼっくりを入れる

* 松ぼっくりの数も点数に入れました。

二人三脚は、2回目です。1度目は、10月の就学時検診の時に、夢の森公園でやりましたね。

イチニ、イチニ、・・・。

いきピタリ〜〜〜！！



優勝チームには、商品として、シールのシートを差し上げました。また、やろうね。

12月9日（水）10日（木）11日（金）の3日間、保護者会でしたので、たくさんの参加者を予想して、子どもたちを安全に楽しく過ごしてもらうには？と、指導員で知恵を出し合いました。結果が、この写真のようなイベントを思いつきました。平均75名の参加者があり、体育館が使用できるようになって、ほんと、助かりました。全員参加と銘打っても、だれも嫌がらず、参加してくれたことに感謝です。そして、楽しそうでした。学年を隔てて、いたわりあいや助け合いも見受けられました。さすがに3日間同じことをやると、それなりに上手になりますね、微笑ましい限りでした。

“習うより慣れろ”このことわざとおりです。

グループを4つに分け、各リーダーと副リーダーをグループごとに話し合いで選んでもらいました。どの子もリーダーになりたいのね。リーダーになれないと、がっくり。リーダーに選ばれた子は、どこにそんなエネルギーあったの？と思わせるぐらいの張り切りよう。どの子も立派でした。

<将来の日本のリーダー予備軍は、十分存在していますよ☆（笑）>

*昔、縁日で、金魚すくい、輪投げ、射的、まと当て、などで遊びましたよね。それも、少ないお小遣からのお金をやりくりしてです。豪華商品がかかっていたので真剣でした。だって、商品がもらえなかったら、お小遣いが減って、何も手には残らないんですから、真剣ですよ。幼いながらも、真剣勝負ということをしかに学べた時代でした。だから、あたまをひねって、いろいろ、対策を練りました。このことが生きた勉強でしたね。清須市内は、お祭りやイベントなどが多くあり、そのつど、縁日も開かれます。ぜひ、子どもたちといっしょに、ゆるいひとときを過ごし、生きた勉強を経験する時間を増やしていただけることを、願っています。「自分で考えて行動すること」ととても大切なことだと思います。



現在の宿題について

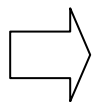
1年生は、計算と漢字の

繰り返しプリント

2年生は、九九の暗記

3年生は、百人一首の暗記

そして、各学年に本読み



どれもとっても重要です。放課後ではやったらダメと言われる担任の先生もいらしゃるようですが、「家で家族の目の前できちんとやりなさい。」といたいのだなあと、つくづく思います。字はくちやくちや、考えるのが面倒なので友達のを写す、これを繰り返していたら育つものも育たないもの、自分の子があやしいなーと、思ったら必ずご家庭で確認してください。



編集後記



放課後教室では、毎回始めに指導員のお話の時間があります。

その時の子どもたちの様子はというと、ウロウロ、ソワソワ。指導員の話は聞かずに自分勝手なおしゃべりばかり、また、話をしている間を割って入り、自分の言いたい事を勝手に話したりする子もいます。最近、人の話をきちんと聞けない子が増えてきているなと感じています。

『きちんと話を聞ける子になって欲しい』

今、私が子どもたちに対して一番思っている事が、これです。

聞く力は、人とのコミュニケーションや学習の基本になる大切なことから・・・。

では、どうすれば「話を聞ける子」が育つんでしょう。やはり、「親が子どもの話を聞いてあげる」これが一番大切だと思います。聞いてあげることが聞く力を育てるのです。

洗濯物をたたみながら、お料理をしながら話を聞いてあげるのも、もちろん十分いいと思います。

でも、一日一回ほんの少しの時間でいいので、子どもから話しかけてきた時、「ながら」をやめて、顔を合わせ、目を合わせて話を聞いてあげてください。きっと、子どもたちに変化が現れてくると思います。指導員も仕事に追われ落ち着いて聞いてあげられてないなと感じます。私達も、しっかり話を聞いてあげ、「きちんと話を聞ける子」を育てていきたいと思っています。

(指導員 S の思い・・・でした。)

